敬語の種類

●謙譲語

動作・行為の受け手（客体）などを高めて言う言葉を謙譲語という。

〈主な表現〉

・「**お（ご）……する**」

（例）話す　→　お話しする　※「お話しになる」は尊敬語

・「**お（ご）**＋名詞」　※尊敬語の場合もある

（例）（先生への）お電話　ご挨拶

・謙譲の意味をもつ特別な動詞

行く・来る	**伺う・※参る**
いる	**※おる**
見る	**拝見する**
聞く	**伺う・承る**
言う・話す	**※申す・申し上げる**
食べる・飲む・もらう	**いただく**
やる・与える	**差し上げる**
する	**※いたす**

謙譲語のうち、自分や自分に近い人の動作をかしこまって言うことで聞き手への敬意を表す言葉を**丁重語**（※）ということもある。丁重語は、「ます」を付けて用いられることが多い。

（例）　おります。

敬語の使い方

・自分や、身内など自分に近い人に尊敬語を使わない。

（例）×お父さんは今×いらっしゃいません。

→　父は今おりません。

・敬語を重ねすぎない。

（例）お話を×お承りする。　→　お話を承る。

×お読みになられる。　→　お読みになる。

確認テスト

(1) 次の①~⑥の——線部が、謙譲語ならア、謙譲語でなければイで、それぞれ答えなさい。

①私からお届けする。〔　〕
②荷物をお預かりする。〔　〕
③ここをお使いになる。〔　〕
④会場までご案内する。〔　〕
⑤概要(がいよう)をご説明する。〔　〕
⑥お客様がご利用になる。〔　〕

(2) 次の——線部の言葉をひらがな四文字の謙譲語に直しなさい。

校長先生のお話を聞く。

□□□□

(3) 次の——線部の言葉をひらがな六文字の謙譲語に直しなさい。

ご意見を聞く。

□□□□□□

(4) 次の——線部の言葉をひらがな四文字の謙譲語に直しなさい。

お祝いの言葉をもらう。

□□□□

(5) 次の言葉の謙譲語を選びなさい。

見る

ア　拝見する　　イ　召(め)し上がる
ウ　ご覧になる　　エ　差し上げる

〔　〕

(6) 次の——線部の敬語を正しく直しなさい。

新聞をお読みになられた。

新聞をお読みに□□□。